

INTEGRITY CODE

GUIDE BOOK

積水ハウスグループ インテグリティ・コード

— わたしたち一人ひとりが積水ハウスです —

ガイドブック



2026. 03. 公開版

Top message

私たち一人ひとりが 積水ハウスです



積水ハウス株式会社
代表取締役兼 CEO
社長執行役員

仲井 嘉浩

企業の存在意義は、社会に価値を生み、今を生きる人も未来を生きる人も幸せにすることです。1960年に創業した積水ハウス株式会社は、決して順風満帆な船出ではありませんでしたが、先人たちの努力によりいくつもの困難を乗り越え、多くの仲間とともに、これまで社会にたくさんの「幸せ」を届けてきました。その根底にあるのが企業理念「人間愛」です。“相手の幸せを願い、その喜びを我が喜びとする奉仕の心を以て、何事も誠実に実践する”という精神は、どれほど時代が変わっても揺るぎません。

揺るぎのない企業理念を保ちながら、新たな価値を創造し、未来への責任を果たすためには、変えるべきところは変えていくことも必要です。そこで、2020年以降、“「わが家」を世界一幸せな場所にする”というグローバルビジョンを掲げました。また、企業価値観

を作成した上で、「SEKISUI HOUSE_SHIP」で、私たちの目指すべき行動の道標を示しました。そして、この度、これまでの企業倫理要項等を刷新し、「インテグリティ・コード」を制定します。

「インテグリティ」とは、私は、“高邁な倫理観”と解釈しています。昔、おばあちゃんから「お天道様（おてんとさま）がみている」と戒められた経験はないでしょうか。「誰も見ていないと思って悪さをして神様仏様は見ているから」という教訓です。この言葉だけで、誰もが正しい振る舞いのできればいいのですが、人間は弱いもので、ついつい「これくらいなら、まあ、いいっか」とついつい自身のインテグリティレベルを下げてしまうものです。

そこで、「人間愛」や「SEKISUI HOUSE_SHIP」の精神から導かれた、「インテグリティ・コード」を制定しました。私たちが仕事をするうえで、仲間、お客様、取引先や社会からの信頼を得るために「守るべきもの」を定めています。よって、このコードの逸脱行為は、その程度に応じて、厳しい処分につ

ながることもあります。また、上長やリーダーに当たる立場の皆さんは、より高い水準のインテグリティが求められていることを忘れないでください。

今後は、このコードの内容にとどまらず、「私たち一人ひとりが積水ハウスです」を常に心に刻みながら、私たち全員がインテグリティレベルを上げていくことが必要です。短期的な利益や情実に流されず、勇気をもって正しい判断をすること、その積み重ねにより、お客様や社会や株主等、全てのステークホルダーから信頼を築くことが可能となり、そして、はじめて、“「わが家」を世界一幸せな場所にする”を実現するにふさわしい企業になることができるでしょう。

この企業理念に感謝し、「SEKISUI HOUSE_SHIP」を目指して行動し、「私たち一人ひとりが積水ハウスです」の精神で「インテグリティ・コード」を実践することで、皆さんとともに未来の積水ハウスグループを築いていきましょう。

2026年2月1日

Top message

ここからがスタートです



積水ハウス株式会社
代表取締役
副社長執行役員

田中 聡

社会や企業を取り巻く環境は、ここ数年で劇的に変化しました。コンプライアンスやハラスメントへの考え方、企業に求められる責任は、かつてとは比べものになりません。さらに、積水ハウスグループ自身も海外事業の拡大など、大きな転換期を迎えています。こうした変化の中で、私たちが迷ったときに立ち返る基礎となるものを持つことが、今ほど重要な時代はありません。

今回策定する「インテグリティ・コード」は、その行動の基礎となる「守るべきもの」です。ここで大切なのは、なぜ「インテグリティ」という言葉を使うのかということです。正直、日本の従業員の方には、この言葉には馴染みがない方も多いと思います。「誠実さ」「高潔さ」「真摯さ」といった訳語はありますが、どれも一部の意味しか表せません。インテグリティは、単なるルール遵守ではなく、信念に基づいて自ら正しいことを選び取る姿勢を

含んでいますが、このニュアンスを一言で表す日本語は存在しません。

だからこそ、皆さん一人ひとりに考えてほしいのです。「インテグリティとは何か」「自分にとって正しい判断とは何か」。違和感があれば、問いを持ち、腹落ちするまで考えてください。そのプロセスこそが、企業文化をより高める第一歩です。言葉の意味を自分で探り、理解しようとする過程で、私たちの行動や判断の質は確実に高まります。「インテグリティ」という言葉を敢えて選んだ理由はここにあると思います。

インテグリティは、日々の小さな選択に現れます。誰も見ていない場面でどう振る舞うか、短期的な利益より長期的な信頼を選べるか。こうした瞬間に、インテグリティが問われます。そして、このコードは、その判断を支えるものです。なぜこういったものが必要なのか。それは、人間が弱い存在だからです。迷ったり、流されたりするのは自然なことです。だからこそ、立ち止まり「本来のあるべき姿」を思い出せる支えが必要です。インテグリティ・コードは、完璧な答えを押し付けるものではありません。むしろ、人の弱さを

認め、迷ったときに「ちょっと待てよ」と立ち返るためのものなのです。

インテグリティ・コードは、作って終わりではありません。むしろ、ここからが始まりです。研修を受けるだけでは人は変わらないように、コードも策定した瞬間に効果を発揮するわけではありません。日々の判断と行動の積み重ねが、企業文化を育てます。そして、このコードも時代や会社の変化に応じて進化し続けるべきものです。

私も、幹部として率先してこのコードを実践します。また、皆さん一人ひとりも「自分の仕事や職場をより良くするために、どう行動するか」を考え続けてほしいと思います。インテグリティは、指示ではなく自律から始まります。迷ったときに立ち止まり、考え、選び取る——その積み重ねが、積水ハウスグループをより強い組織へと導きます。

千里の道も一歩から。皆さんとともに、一歩ずつ着実に進めていきたいと思います。

2026年2月1日

Contents

はじめに	5
------------	---

Chapter 1

職場の仲間と信頼を築く	9
--------------------------	---

Section

1. 仲間を尊重し合います
2. 真実に基づいて行動します
3. 安全で健康に働ける職場をつくりま
4. 公正・透明・誠実に仕事をしま
5. 会社資産を適正に管理しま
6. 上長は率先してインテグリティある組織をつくりま

Chapter 2

お客様・お取引先様と信頼を築く	17
------------------------------	----

Section

1. 商品・サービスの安全性を最優先しま
2. 最高の品質と技術を追求しま
3. お客様と公平公正な取引をしま
4. 市場での公正・自由な競争を守りま

Chapter 3

社会との信頼を築く	23
------------------------	----

Section

1. 人権を尊重しま
2. 個人情報を適切に管理しま
3. 法令・各種業法を遵守しま
4. 反社会的勢力と関係しま
5. 真実を記録し開示しま
6. 環境保全に取り組みま
7. 社会に貢献しま

迷ったときは	32
---------------------	----

※ 第1章以降の本文中「太字」は、企業理念等から引用した文言です。

はじめに

企業理念から考えるインテグリティの意味と、
インテグリティ・コードの位置付けを説明します。



初出荷時の写真（積水ハウス関東工場）

適用範囲

インテグリティ・コードは、積水ハウスグループ（グループ会社管理規則に定義されるグループ会社）で働くすべての人（役員、従業員、パート、アルバイト、派遣社員を含む）を対象とします。

就業規則との関係

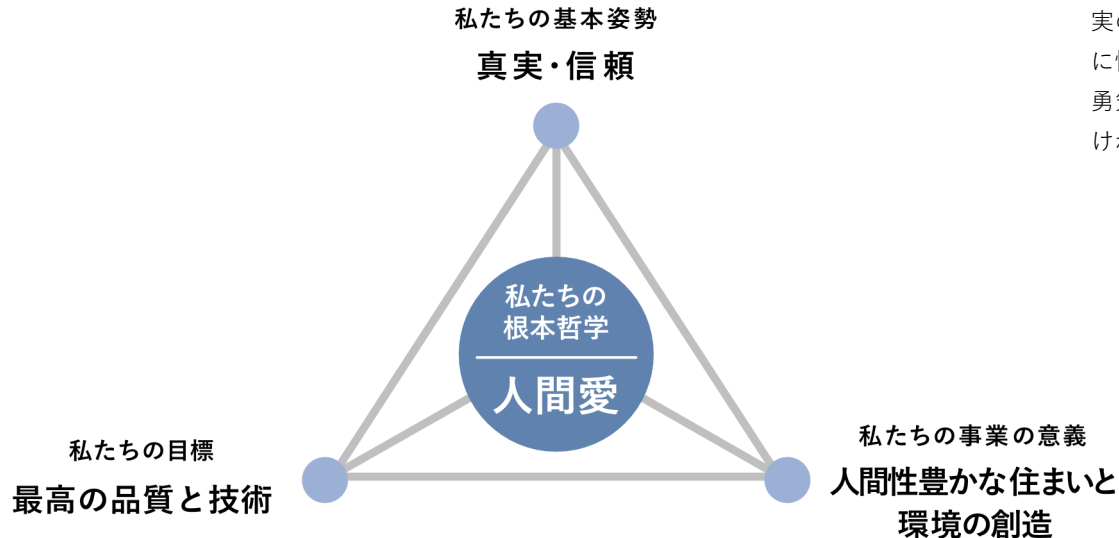
インテグリティ・コードは、積水ハウスグループ各社の就業規則に定める遵守すべき対象であり、コードの逸脱行為に関しては、その程度に応じて、就業規則違反に該当することがあります。

このページは、企業理念（1989年1月制定）の抜粋です。

私たちの根本哲学

「人間愛」

人間は夫々かけがえない貴重な存在であると言う認識の下に、相手の幸せを願いその喜びを我が喜びとする奉仕の心を以って何事も誠実に実践する事である。



私たちの基本姿勢は

「真実」と「信頼」です

真実

企業のあらゆる活動の実態並びに実績は、真実の上に立脚せねば正しい評価はなされない。従業員個人や組織の能力、或は実績の評価も、真実に立脚せねば公平公正は期待出来ない。正しい且つ良き人間関係も真実の上に築かれるものである。従って、常に情実を排し、何が正しいか何が真実かを勇気を以って探求し続け、それを実行しなければならない。

信頼

企業は人の集団でありその活動はすべて幾人かの共同作業である。しかも人はすべて平等であるから夫々自主的判断により行動すべきであるが、尚且つ組織として調和と共鳴が得られる時に組織は活性化する。それには、互いに信頼し合い、助け合い、励まし合う事が欠かせない。チームワークの成果は相互信頼にかかっている。又、人間関係が常に公平、公正でなければ相互信頼は生れない。権力と情実是最も忌むべきである。

わたしたちのインテグリティとは？

積水ハウスグループにとっての「**インテグリティ**」とは、「**人間愛**」「**真実・信頼**」から導かれるものです。

わたしたちの「**インテグリティ**」は、「一貫した信念で誠実に公正に対応すること」にとどまらない、以下の**3つの姿勢**に集約されます。

- 1.「誰が正しいか」ではなく「何が正しいか」を基準に自律的に判断・行動する
- 2.長期的な信頼関係を築くために、誠実に取り組む
- 3.人間の弱さを認め、失敗を非難するのではなく、失敗から学ぶ姿勢を持つ

1960年の設立以来、積水ハウスグループがこれまで発展してきた原動力には、運命協同体として、社員一人ひとりが経営者であるという覚悟、そして何より、心から相手の幸せを願う愛情を持ち、実践することが最も重要であるという「人間愛」の哲学があります。

「人間愛」は、積水ハウスグループのあらゆる活動を貫く根本哲学であり、わたしたちが常に持ち続けるべき心構えです。これまで、わたしたちが創業以来提供してきた住宅、そしてその原点から広がる商品・サービス（※）は、いずれもお客様の命や人生に深く関わるかけがえのないものばかりです。だからこそ、わたしたちは、権力や情に流されず、勇気をもって真実を探し、働く仲間同士の信頼関係を築き、社会やお客様、お取引先様からの長期的な信頼を得ることを大切にしてきました。

これからの社会は不確実性を増し、正解を導き出すことがますます難しくなります。その中でわたしたちが価値を提供し続けるためには、一人ひとりが自律的に考え、行動し、互いのアイデアや情報を積極的に共有して真実を見つけることが不可欠です。他方で、不確実性の高い社会でイノベーションを実現するために失敗はつきものであり、わたしたちは誰でも失敗をおかす弱い存在でもあります。だからこそ、信頼し合い、助け合い、励まし合いながら、互いの失敗を素直に打ち明け、そこから学び、成長に活かす姿勢を大切にしていきます。それが、「イノベーション&コミュニケーション」の実践だともいえるのです。

※本コードにおける「商品」とは住宅、建築物、建造物、不動産、住宅部材・関連製品等の積水ハウスグループが提供するすべての商品、製品をいいます。

また、それらの製造、開発、輸入、保管、設計、施工、販売、輸送、輸出、修理またはサービス等、積水ハウスグループが行うすべての事業を総称する場合、「商品・サービス」といいます。

インテグリティ・コードは、 わたしたちが積水ハウスグループの一員として 守るべきものです。

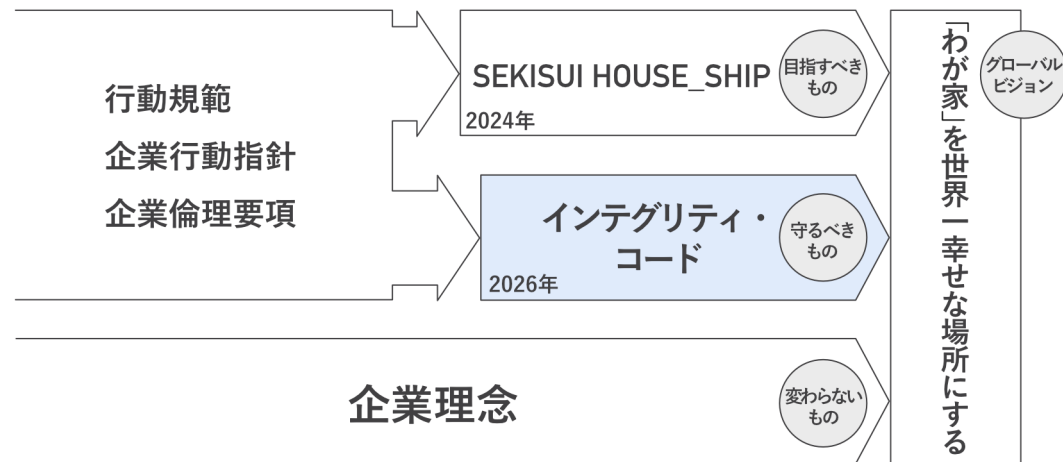
企業理念は、「人間愛」を根本哲学とするわたしたちの存在意義です。

グローバルビジョンは、“「わが家」を世界一幸せな場所にする”という、わたしたちが事業を通じて実現したいビジョンです。

SEKISUI HOUSE_SHIPは、従業員一人ひとりが誇りと責任を持って行動するための価値創造の道標であり、わたしたちが目指すべきものです。

インテグリティ・コードは、わたしたちが、企業理念の「人間愛」「真実・信頼」を日々の業務の中で実践するために、積水ハウスグループの一員として守るべきものです。同時に、SEKISUI HOUSE_SHIPを道標としたそれぞれの自律的な行動を支える基礎となるものです。

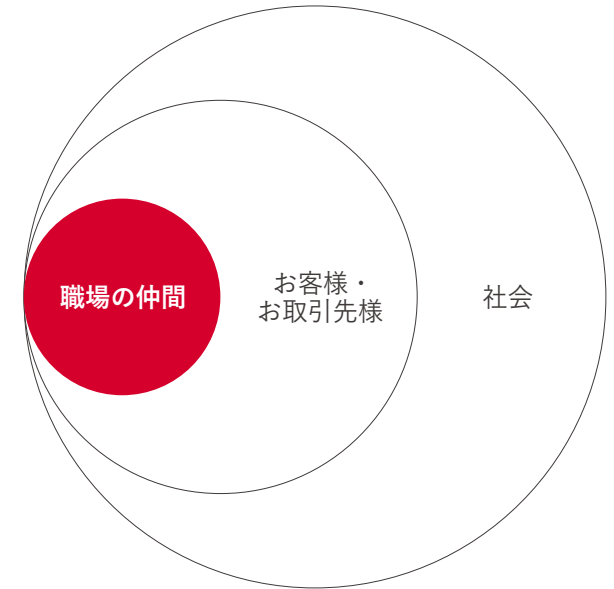
わたしたちは、この内容を職場の仲間に対して、誓約します。



Chapter

1

職場の仲間と
信頼を築く



職場の仲間と信頼を築く

- わたしたちが、グローバルビジョン“**「わが家」を世界一幸せな場所にする**”を実現するためには、一人ひとりが心理的安全性の高い職場を築き、仲間との信頼関係を深めることが重要です。「**相手の幸せを願いその喜びを我が喜びとする**」という「**人間愛**」の実践は、まず社内の仲間に対して行うべきものです。
- 「**イノベーション & コミュニケーション**」を日々の業務で実践していくためにも、職場の仲間との信頼関係は不可欠です。
- 本章で取り上げる内容は、職場の仲間に対する「**人間愛**」や基本姿勢「**真実・信頼**」の実践として、ありたい姿、行動を示すものであり、積水ハウスグループの一員として、わたしたちが職場の仲間に対して誓約するものです。

Section 1. 仲間を尊重し合います

Section 2. 真実に基づいて行動します

Section 3. 安全で健康に働ける職場をつくります

Section 4. 公正・透明・誠実に仕事をします

Section 5. 会社資産を適正に管理します

Section 6. 上長は率先してインテグリティある組織をつくります



1 仲間を尊重し合います



わたしたちは、「夫々かけがえのない貴重な存在」です。

一人ひとりの個性や人格、価値観を尊重し、互いに信頼し合える職場づくりを目指しています。

多様な考え方を活かすことが、職場でのイノベーションにつながります。

また、積水ハウスグループの各社は仲間です。

グループ間の垣根を超え、互いに尊重し合うコミュニケーションを大切にしていきたいと思います。

- 1** 異なる意見も否定せず傾聴し、意見を出し合える心理的安全性の高い職場をつくります。
- 2** 自分が困ったときは助けを求め、相談しづらそうな仲間には積極的に声をかけ、傍観しない姿勢を大切にします。
- 3** 互いに良い点を積極的に伝え、課題については改善に向けた建設的なフィードバックをします。
- 4** 立場や雇用形態の違いに関わらず、対等なコミュニケーションを行います。
- 5** コミュニケーションは言葉だけでなく、表情や身振りなども重要です。特に地位や経験のある者の言動は強い影響を持つことを理解して行動します。

1-2 真実に基づいて行動します



わたしたちは、「誰が正しいか」ではなく「何が正しいか」を基準に真実を追求し、勇気をもって行動する姿勢を大切にしています。

そのために、必要な情報を早く正確に共有することが重要です。

問題・課題・失敗を隠さず打ち明け、成長と学びのチャンスとして前向きに捉えます。

問題があるときは違和感を放置せず、声を上げていきます。

- 1** 職場の問題・課題・失敗に対し、個人を責めるのではなく、学びと成長の機会と捉え、互いに建設的で率直なコミュニケーションを行います。
- 2** 不正やリスクの兆候、コンプライアンス違反またはその懸念を把握した場合、見て見ぬふりはしません。自身や他者の行為を問わず、迷ったときも含めて、速やかに上長や担当部署、内部通報窓口へ報告・相談します。
- 3** 報告・相談・調査協力をした者に対して、個人を特定しようとする行為や不利益な扱いは一切許容しません。そのような行為や不利益の扱いの疑いがある場合は、速やかに担当部署、内部通報窓口へ報告します。
- 4** 社内規則に関する課題や改善提案は、上長や担当部署に共有・相談します。

安全で健康に働ける職場をつくりま



わたしたちは、「人間愛」の実践として、心身ともに健康でいきいきと働ける職場環境づくりを大切にしています。安全・安心な環境を整えることで、職場を「世界一幸せな場所にする」ことを目指します。

- 1** 職場の安全衛生に取り組み、異常や危険の兆候を発見した場合は速やかに共有・相談します。
- 2** 業務上の災害（労災等）が発生した場合は、隠さず速やかに上長や関係部署へ報告します。
- 3** 日々正しく勤態を申告します。
- 4** お互いに勤務状況、業務負荷や健康状態に配慮し、体調不良者には迅速に対応します。
- 5** 自己の健康状態を意識し、健康的な習慣づくりに取り組みます。心身に不調をきたしたときは上長や仲間、専門機関等に相談します。また、家族の健康にも配慮し、必要に応じて、会社の制度（育児、介護休業等）を活用します。
- 6** お互いに多様で柔軟な働き方を自律的に選ぶことを支援します。

公正・透明・誠実に仕事をします



わたしたちが職場の仲間から「信頼」を得るためには、公正・透明・誠実に仕事をすることが何よりも大切です。職務と私生活をしっかり区別し、疑いをもたれるような行為もしません。積水ハウスグループの一員であることを常に自覚します。

- 1** 公私混同はせず、個人的な利益や人間関係を会社の利益より優先しません。職務を利用して私利を図りません。
- 2** 社内で家族関係や恋愛関係にある場合、それをもって職場環境を乱したり、公私混同をしません。
- 3** 会社の事業と競合する取引や事業は行わず、競合や取引先のために働いたり、金銭上の関係を持ちません。
- 4** 利益相反の可能性がある場合は、社内規則に従い、関連情報を開示・報告します。
- 5** 業務外であっても、自らの行動が積水ハウスグループの信頼や社会的役割に影響を及ぼし得ることを理解し、社会人として誠実かつ良識を持って行動します。

会社資産を適正に管理します



積水ハウスグループのノウハウや顧客情報、社用車や情報端末などの資産のすべては、仲間の努力で築かれた大切な財産です。

これらはグローバルビジョンの実現というわたしたちの目的のために適切に使うべきものであり、私的利用は許されません。

わたしたちは、社内規則を守り、会社資産や情報を保護・管理します。

- 1** 会社の資産は効率的に活用し、常に使用可能な状態を保ちます。毀損・盗難を防ぎ、私的利用はしません。
- 2** 会社の経費の不適切な利用や、私的な利用はしません。業務に必要な経費利用の際にはルールに則り透明性のある申請を行います。
- 3** 知的財産権は重要な資産として適切に利用し、権利を保全します。
- 4** 企業秘密は適切に管理し、無断で社外に漏洩しません。
- 5** 情報セキュリティに関する社内規則・ガイドラインを遵守し、情報を守る責任を果たします。ID やパスワードは共有せず、厳重に管理します。

1-0 上長は率先してインテグリティある組織をつくりま



上長の立場にあるわたしたちの行動は組織の文化、風土や職場の雰囲気形成に強い影響を持つことを自覚し、「インテグリティ・コード」を率先して実践します。

わたしたちは、職場の心理的安全性を作るキーパーソンとして、また、インテグリティある職場の責任者として、「常に情実を排し」て行動し、「人間愛」「真実・信頼」を追求します。

- 1 自組織において、相談・提案しづらくさせる言動は行わず、仲間が言うべきことを言える環境をつくりま。そのため、必要な情報の共有方法について仲間と協議しま。
- 2 仲間からの懸念や提案に耳を傾ける姿勢と技術を磨き、公正な評価とフィードバックを行います。自らへの指摘や自組織の失敗も含め、学びの機会と捉えて真摯に対応しま。
- 3 権力を振りかざしたり、不当に人事権の行使を示唆するような言動は行いませ。
- 4 人財育成においては、会社が目指すベクトルと仲間のキャリア形成を大切にしながら、仲間に適切な励ましやフィードバックをしま。一方的な指示命令ではなく、常に合意形成を図るリーダーシップを身に着けま。
- 5 情実を排した公正な人財登用、評価をしま。
- 6 自組織の部下との恋愛関係は、職場環境に悪影響を与え、評価や処遇の公正性に疑いを持たれま。そのような行動は厳に慎みま。

Chapter

2

お客様・
お取引先様と
信頼を築く



お客様・お取引先様と信頼を築く

- 住宅、建築事業に限らず、わたしたちの商品・サービスは、お客様の人生や生活に関わるとても大切なものです。わたしたちは、お客様がその重要な仕事をわたしたちに任せてくださることに心から感謝し、価値提供の全過程を通じて、お客様に真の満足や感動をお届けします。これは、お客様に対する根本哲学「人間愛」の実践、すなわち、「最高の品質の商品を適正な価格で提供」し、「お客様の幸せを願う心を持ってその所望に叶った商品を創造提供」することであり、グローバルビジョン“「わが家」を世界一幸せな場所にする”を実現することといえます。
- また、わたしたちの価値創造のパートナーであるお取引先様との信頼関係も不可欠です。すなわち、「協力工事店或は取引先との間に人間愛があれば、温かい共存共栄の実が結び、企業基盤の充実がもたらされる」のです。
- 本章で取り上げる内容は、お客様・お取引先様に対する「人間愛」や基本姿勢「真実・信頼」の実践として、ありたい姿、行動を示すものであり、積水ハウスグループの一員として、わたしたちが職場の仲間に対して誓約するものです。

Section 1. 商品・サービスの安全性を最優先します

Section 2. 最高の品質と技術を追求します

Section 3. お客様と公平公正な取引をします

Section 4. 市場での公正・自由な競争を守ります



商品・サービスの安全性を最優先します



わたしたちにとって、お客様の命と財産を守る商品・サービスの安全性確保は「人間愛」の実践として最も重要な使命です。

「最高の品質と技術」で揺るぎない安全を提供し、すべてのプロセスで商品・サービスの安全性を最優先します。

- 1** 商品・サービスの提供などに関わるすべての人が、安全・健康に関する法令や基準を理解し、安全性向上を常に意識します。
- 2** 安全性が結果として確保されている状態だけでなく、そのプロセス自体の重要性も理解し、遵守します。
- 3** 安全に関する情報を入手した場合は、速やかに事実確認を行い、問題があれば担当部署に連絡し、適切な対応と再発防止を行います。

最高の品質と技術を追求します



わたしたちは、リーディングカンパニーとして、創造力と挑戦で

「最高の品質と技術」を追求し、お客様のニーズに応えます。

すべてのプロセスで満足いただける品質を目指し、お客様への「人間愛」を実践します。

- 1 お客様のニーズに応えるため、商品・サービスの提供等の全工程で創意工夫を重ね、品質向上にこだわります。
- 2 所定の材料を使用し、作業標準を守り、工程管理を徹底します。
- 3 法令や規格、お客様と取り決めた仕様・要求事項を満たす目的等いかなる場合でも、正確なデータや検査結果を使用し、虚偽は行いません。
- 4 商品・サービスの提供に関わる記録・文書は、定められた管理方法に従って確実に扱います。
- 5 工程・プロセス上のトラブルや要求事項への違反の疑いがある情報を得た場合は、速やかに上長や担当部署へ報告・相談します。問題が発生した際には、お客様に対して透明性を保ち、誠実に対応することを重視します。

お客様と公平公正な取引をします



わたしたちは、「お客様の幸せ」を実現するため、正確な情報に基づき、適正な価格で商品・サービスを提供します。会社や社員の利益を優先し、お客様との十分な対話を欠いた契約や不当な価格設定は、「人間愛」の実践に反し、許しません。

1 お客様との打合せ・契約、引渡し、サービス提供、アフターサービスに至るまで、不利益な情報を故意に伏せるなど、誤解を招く行為はしません。良識と誠実さをもって公平公正に対応し、契約条件の設定・説明を適切に行います。

2 営業活動・広告宣伝活動では、他社への誹謗中傷や差別的表現は行わず、事実に基づいた正確で誤解のない内容にします。

市場での公正・自由な競争を守ります



わたしたちは、公正で自由な競争に基づき、「**最高の品質と技術**」でお客様に価値を届けます。健全な競争と取引先との信頼関係は、適正価格で高品質な商品・サービスを提供するために不可欠です。どのような状況でも公正な競争を守ります。

①同業他社や業界団体との間では

- 1 価格や数量、設備に関する協議・談合など不当な取引制限を行いません。
- 2 特定事業者との取引拒否や販売価格の拘束など、不公正な取引方法となる行為を行いません。
- 3 他社の営業秘密の不正取得・利用など、不正な競争を行いません。

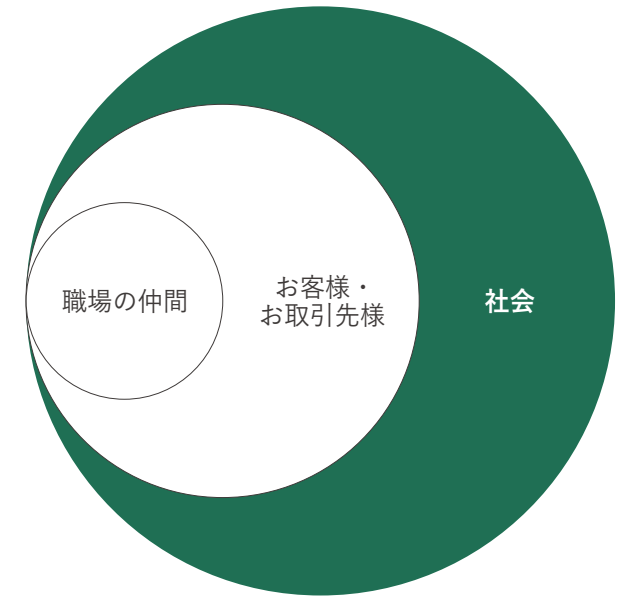
②協力工事店やその他お取引先様との間では

- 1 建設業法等を理解した上で、支払遅延や不当な値引き要求を行わず、パートナーとして尊重します。
- 2 お取引先様の選定においては、品質・納期・価格・技術力・安定供給・企業姿勢・社会的責任への取り組みなどを公平に評価し、決定します。特定のお取引先様を不当に優遇することはありません。
- 3 接待・贈答を行う、または受ける場合は、一般社会的な常識の範囲内とし、上長に報告を行い承認を得ます。接待の要求は行いません。

Chapter

3

社会との
信頼を築く



社会との信頼を築く

- わたしたちは、グローバルビジョンである“「**わが家**」を**世界一幸せな場所にする**”と「**私たちの事業の意義**」である「**人間性豊かな住まいと環境の創造**」を実現するために、事業の各段階において、それが「**社会に貢献出来るものか**」を考え、判断します。
- 積水ハウスグループが企業として存続し、SEKISUI HOUSE_SHIP を道標とした価値創造を続けていくためには、「**真実**」に基づく情報を適切に伝え、社会からの「**信頼**」を得ることが不可欠です。
- 本章で取り上げる内容は、社会に対する「**人間愛**」や基本姿勢「**真実・信頼**」の実践として、ありたい姿、行動を示すものであり、積水ハウスグループの一員として、わたしたちが職場の仲間に対して誓約するものです。

Section 1. 人権を尊重します

Section 2. 個人情報適切に管理します

Section 3. 法令・各種業法を遵守します

Section 4. 反社会的勢力と関係しません

Section 5. 真実を記録し開示します

Section 6. 環境保全に取り組みます

Section 7. 社会に貢献します



3-1 人権を尊重します



わたしたちは、事業活動を通じて「人間愛」を実践し、積水ハウスグループの役員・従業員・お客様・お取引先様など、あらゆるステークホルダーの人権を尊重します。

- 1 出生、国籍、人種、民族、信条、宗教、性別、性的指向、性自認、年齢、障がい、趣味、学歴、家族などに基づくあらゆる差別を行いません。
- 2 社内外のあらゆる場面で、人権と多様性を尊重します。また、暴力、誹謗中傷、いじめ、噂の流布など個人の尊厳を傷つける言動や人権侵害、ハラスメントは行いません。
- 3 仲間が差別やハラスメントを受けている疑いがある場合は、相談・報告・支援するなど速やかに行動します。
- 4 積水ハウスグループ・お取引先様・サプライチェーンにおける強制労働・児童労働はもちろん、あらゆる人権侵害を認めません。その兆候があれば、担当部署に報告します。
- 5 事業活動においてはその国・地域において適用される人権に関する法令を遵守します。法規制と国際的な人権規範が相反する場合には、当該国・地域の法令の範囲内で、国際的な人権規範を尊重する方法を追求します。

個人情報を適切に管理します



わたしたちは、事業活動を通じて「人間愛」を実践し、積水ハウスグループの役員・従業員・お客様・お取引先様など、あらゆるステークホルダーのプライバシーを尊重し、個人情報を適切に取り扱います。

- 1** 個人情報の取扱いにつき社内規則を遵守し、利用目的を通知・公表した上で、必要な範囲でのみ個人情報を取得・利用します。
- 2** 取得した個人情報は社内規則に従って厳重に管理し、本人の許可があるか法令に基づく場合を除き、第三者と共有しません。
- 3** 判断に迷う場合は上長や担当部署に相談し、紛失・漏えい・不正アクセスの兆候があれば、直ちに社内規則に従い担当部署へ報告します。

法令・各種業法を遵守します



社会のあらゆるステークホルダーからの「**信頼**」は、わたしたちの事業存続の基盤です。わたしたちは、社会からの「**信頼**」を得るため、商品・サービス提供において法令・各種業法を遵守します。業務で得たインサイダー情報の私的利用は許容しません。贈収賄や腐敗行為による利益を一切認めません。

- 1** 職務を遂行するすべての場面において、事業活動を行う国・地域に関係する法令および社内規則や社会的な規範を遵守し、社会的要請についても理解した上で対応します。
- 2** 商品・サービスに関する業法および関連する社内規則を遵守し、許認可や届出などの手続きを確実に行います。
- 3** 業務遂行上、自社や関係会社またはお取引先様等のインサイダー情報を知った場合、または知った者から伝達を受けた場合は、その情報が正式に公表されるまでは、それらの会社等の株式・投資口・債券等の売買をしません。友人や家族を含む第三者にはインサイダー情報を共有しません。
- 4** 公務員、民間に限らず賄賂や不正な便宜供与で得られた事業機会や利益を認めません。

反社会的勢力と関係しません



わたしたちは、社会からの「**信頼**」を保つためにも、反社会的行為に一切関与しません。

また、お客様やお取引先様、その関係者かどうにかかわらず、反社会的勢力との関係を持つことがないように、またそのような疑念を持たれることがないように、最大限の注意を払います。

- 1** 違法行為や反社会的行為に関与しないよう、基本的な法律知識と社会常識、正義感を持ち、常に良識を持って行動します。
- 2** 反社会的勢力には毅然と対応し、いかなる理由があっても関係を持ちません。また、名目を問わず金銭や利益の提供、取引を行いません。
- 3** 反社会的勢力やおそれのある者からの接触を受けた場合は一人で対応せず、上長や担当部署に相談し、毅然と拒絶します。

3-5 真実を記録し開示します



わたしたちは、社会から信頼され続けるため、事業の透明性を確保し、「**真実**」に基づく正確な情報を適時・適切に発信します。

①適正な会計処理および記録

- 1 重要な計算書類等の基礎となる会計帳簿や伝票を正確に記載し、必要な記録や社内書類も正確に作成します。
- 2 売上・経費および関連資料について、虚偽や架空の報告は行いません。
- 3 契約実績や売上の報告などは、社内規則・基準に従って処理します。

②適正な開示

- 1 株主・投資家に対して、財務情報だけでなく、経営方針やサステナビリティに関する非財務情報も積極的かつ適時・適切に開示します。
- 2 誤認や誤解を招く表現はせず、正確な情報開示をします。
- 3 認証機関や当局など外部に提出する資料においても、改ざんやねつ造などの不正確な情報提供は行いません。

環境保全に取り組みます



わたしたちは、人々の健康で豊かな暮らしを支えるとともに、自然や生物多様性を守り、次世代へ健全な環境を引き継ぎます。

わたしたちの事業は地球環境と共生する持続可能な社会の中で成り立つものであり、環境に配慮した住宅づくりを始めとする、商品・サービスの提供を通じて、地球との調和に貢献します。

1 商品・サービスの提供のプロセスすべてにおいて、エネルギーの効率的利用、省エネルギー・再生可能エネルギーの導入を進め、脱炭素化を推進します。また、生物多様性の保全や、資源の循環・有効活用に取り組み、自然環境への負の影響を低減します。

2 環境課題の解決には、地域社会との共生など、あらゆるステークホルダーとの連携が不可欠であると認識し、共に環境価値の創出に取り組みます。

3-7 社会に貢献します



「人は住まいを創り、住まいは人を創る」

- 「人間として豊かに感じ、快く感じ、安らぎを感じず様な住まい手本位の住まいの提供」
- 「快適で誇らしい街並や安全で利便性の良い環境」
- 「近代的で合理性のある都市開発等」の創造

これがわたしたちの事業の意義であり、誇りです。

すべての事業活動を通じて「人間愛」を実践し、より良い社会づくりやコミュニティ形成に取り組みます。

- 1 人間性豊かな住環境の創造、安全・安心・快適で高品質な商品・サービスの提供を通じて、持続可能な経済成長と社会課題の解決に寄与します。
- 2 快適で誇らしいまちなみや利便性の高い環境づくりに挑戦し、美しいまちなみや良質なストック形成を行うことで社会価値を創造します。

- 3 国内外の法令を遵守するだけでなく、各国・地域の文化や住民に配慮しながら、グローバルかつローカルな視点で事業を展開し、経済と文化の発展に貢献します。
- 4 あらゆるステークホルダーと連携し、社会課題の解決や地域社会の発展につながる活動を推進します。
- 5 役員・従業員個人の社会参加やボランティア活動も尊重し、積極的に応援します。



迷ったときは

インテグリティ・コードは、わたしたちが積水ハウスグループの一員として守るべきものです。

このインテグリティ・コードでは、あらゆる状況を具体的に網羅することはできません。大切なのは、日々の業務において立ち止まり、「人間愛」や基本姿勢である「**真実・信頼**」に立ち返ることです。わたしたちそれぞれが自律的に考え、実践していきましょう。

そして業務の中で悩んだり迷ったりしたときには、次の問いを自らに投げかけます。

- ✓ それは「**人間愛**」「**真実・信頼**」に照らして正しいと言えますか？
- ✓ それは法令、インテグリティ・コード、社内規則に沿っていますか？
- ✓ あなたの行動は、職場の仲間に説明できますか？自分さえよければ、と思いませんか？
- ✓ 家族や友人が同じことをされたらどう思いますか？
- ✓ あなたの行動がニュースや SNS で共有されても、正しいと説明できますか？
- ✓ 正しいと思うために自分に都合のよい理由を探していませんか？
- ✓ 本当は悩んでいるのに、相談せずに抱え込んでいませんか？

不安や迷いがある場合は一人で判断せず、上長や同僚、担当部署に相談・報告しましょう。